

慶應義塾文学科教授・永井荷風

『三田文学』通巻八〇〇号突破を記念して――

荷風ナニ

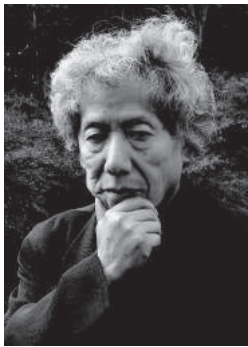


巽孝之(たつみ たかゆき)
一九五五年東京生まれ。慶應義塾大学文学部教授(アメリカ文学専攻)。藝文学会委員長。主著に『ニュー・アメリカニズム』(青土社、一九九五年福沢賞)、『盗まれた廃墟――ポール・ド・マンのアメリカ』(彩流社、二〇一六年)、*Full Metal Apache* (Duke UP, 2006)ほか多数。

荻野アンナ(おぎの あんな)
一九五六年神奈川県生まれ。作家。慶應義塾大学文学部教授(フランス文学専攻)。著書に『背負い水』(文藝春秋 芥川賞受賞)、『ホラ吹きアンの冒険』(文藝春秋 読売文学賞受賞)『カシス川』(文藝春秋)、『ラプレーで元気になる』(みすず書房)など。



末延芳晴(すえのぶ よしはる)
文芸評論家。京都在住。主な著書に『荷風とニューヨーク』(青土社)、『荷風のあめりか』(平凡社)、『夏目金之助 ロンドンに狂せり』(青土社)、『正岡子規 従軍す』(平凡社 第二十四回和辻哲郎賞受賞)、『原節子 号泣す』(集英社新書)など。今年の十二月十四日に、『慶應義塾文学科教授 永井荷風』(集英社新書)刊行予定。



持田叙子(もちだ のぶこ)
一九五九年東京生まれ。著書に『荷風へ、ようこそ』(慶應義塾大学出版会 サントリー学芸賞受賞)、『永井荷風の生活革命』(岩波書店)、『歌の子詩の子、折口信夫』(幻戯書房)、『折口信夫 秘恋の道』(慶應義塾大学出版会)など。



ピーター・バナード (Peter Bernard)
一九八九年アメリカ・マサチューセッツ州生まれ。ハーバード大学大学院博士課程在籍。訳書に*A Bird of a Different Feather: A Picture Book* (泉鏡花著/中川学画、国書刊行会)、日本語論文に「姪賓怕客説――永井荷風「来訪者」の怪奇性をめぐって」(『三田文学』一三五号)、「壁のなかの狂人――民俗学者H・P・ラヴクラフト」(『ユリイカ』二〇一八年二月号)など。



日時 2018年12月14日(金)
15時～(開場14時30分)

会場 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

登壇者

司会&講師:巽孝之(本塾文学部教授、藝文学会委員長)

講師:末延芳晴(文芸評論家)

:持田叙子(近代文学研究者)

:ピーター・バナード(ハーバード大学博士課程、日本近代文学/比較文学研究家)

コメンテータ:荻野アンナ(作家、本塾文学部教授)

懇親会 18時～ 西校舎生協食堂

*シンポジウム、懇親会ともに入場無料、会費無料、予約不要。